

久斗山地区公民館だより



令和8年
6月号

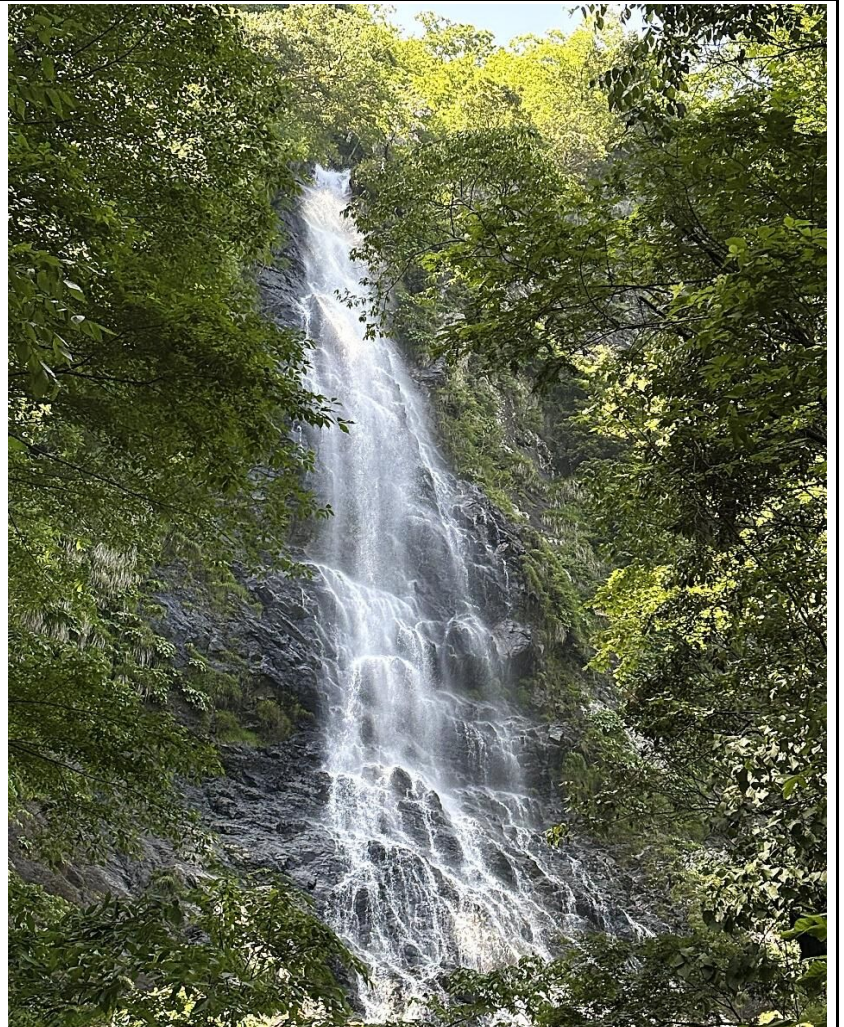
5月28日発行

久斗山地区公民館

【ご挨拶】 アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃の戦闘はいまだに停戦に至らず、中東における原油など輸送停滞の影響は世界中に大きく波及しています。特にナフサの不足はプラスチックや合成ゴム、塗料、食品包装などの原料になっているだけに、人の暮らしと密着しており、品不足が進み物価はさらに高騰しており、生活に徐々に影響が出てきています。早く戦争を終結してくれないと本当に困ります。さて5月は一年で一番過ごしやすい時期ですが、今年は例年より気温が高く、5日の子供の日から2週間以上雨が降りませんでした。おかげで畑はカラカラで、植えた野菜の苗に毎日の水やりが大変でした。すでに真夏なみの陽気です。昨年のような猛暑と湯水は願い下げですが…

【猛暑日は涼しいところに行こう！】

5月18日、豊岡は5月の観測史上初となる35.3℃を記録し、今季初となる猛暑日になりました。今からこんなに暑くて、本格的な夏になったらどうなるでしょう？少しでも涼を求めて滝はいかがですか？養父市にある天滝は「但馬三名瀑」の一つ。登山口から滝まで約1.2km、渓谷沿いには夫婦滝などいくつも滝があり、杓子木、アザミ、オウギカズラなどの希少植物が自生しており、花の時期には目を楽しませてくれます。



オウギカズラ



ジュウニヒトエ

ミヤマナルコユリ

天から流れ落ちる天滝と渓谷に咲く花々（令和8年5月18日）

【地域の不思議発見！春の遠足】

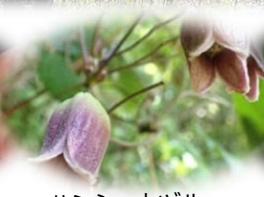
地区にはまだよく判らない不思議な物が色々あります。5月17日に開催した「春の遠足～蓮台山のふもと、大味・中小屋地区～」はそんな発見をする遠足でした。一番の注目は奥大味にある通称「桃太郎岩」でした。天気が良く、夏のように暑い一日でしたが、幼児から大人まで26人の参加者があり、大味口から中小屋まで往復約4kmを元気に歩きました。途中でノアザミ、ミヤハツヨウグル、ヤマツナミソウ、ツツジ、ヤマツツジの花を観察したり、水路でイサナを捕まえたり、シカの爪や頭骨を拾ったりと好奇心旺盛な子ども達は次々と色々な物を見つけました。もちろんまん中で割れた桃太郎岩を見た時はその不思議さに驚きました。昼に旧大味中小屋分校に到着し、木陰で昼食にして、午後は中小屋まで行って引き返しました。少々暑かったけど、楽しい遠足でした。ヤマツナミソウ



パッキリ割れた桃太郎岩



シカの爪を拾う



ハンショウヅル



ノアザミ



奥大味の田んぼ跡にて



旧大味中小屋分校にもう少しで到着



シカの頭骨を拾う

【姫路のサッカーチーム、久斗山合宿】

姫路のサッカーチーム「クラブ アトレティコ城東」が、5月16日～17日、1泊2日の日程で久斗山地区公民館で合宿を行いました。元気な小中学生男子18人と、コーチと父兄5人の大人が午前10時に到着し、さっそく畑などで苺やアサリなどの山菜を採取して、お昼は山菜天ぷらと草団子を作りました。午後は竹の器を作り、夕飯はシカ肉入りカレーをお腹一杯食べて、浜坂の温泉に入り、夜は星空観察して、最後にキャンプファイヤーして一日が終わりました。丸1日久斗山の自然を満喫して、やっと次の日に浜坂海岸でビーチサッカーをしたそうです。また、来てね～



CLUB ATLETICO JOTO



【今年もGWは田植え週間】

新温泉町の田植えは、5月の連休に繁忙期となります。4月中に代掻きを終えて、田んぼを整え、1日の早朝から苗を運び、さっそく田植え機で植えてゆきました。今年のGW初めは天気が悪く難儀したそうですが、後半は晴れて気温の高い日が続きました。豊作を願っています。



【悪質詐欺に気をつけて！ 境、防犯講話会開催】

近年、特殊詐欺が増加しており、昨年だけで兵庫県内1969件、被害額は85億円にのぼるそうです。5月20日、境区では詐欺を防ぐため、久谷駐在所の安田利紀巡査を招いて講話会を開きました。13人の参加があり、熱心に話を聞きました。6月3日、久斗山でも開催します。



【田村境区長、手品をご披露】

今月のすこやかクラブ お話し会は、15日の百歳体操の後で、境の田村謙吉区長をお招きし、手品を披露していただきました。コトやお札を使った手品や、折った紙を切って開くと星形が出来る楽しい時間を過ごしました。



【新緑の山は白が目立つ】

新緑の季節となり、今の時期に山に入ると風に乗っていい香りがしてきます。材木や沢木、ヤマブキ、ササユリなどの樹木が花を咲かせます。これらの白い花は、花を訪れる昆虫の目で見ると緑の葉は黒くなり、白が浮き出るように目立つからです。清楚な美しさが目を引くんですね。



サワフタギの花

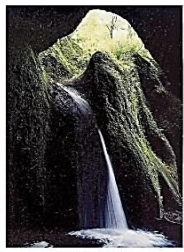
○令和8年 6月の行事

- 1日～5日 中学校トライやるウィーク
- 6日(土) 「霧ヶ滝トレッキング～秘境の渓谷!上空にイワツバは現れるか!～」(9:00～15:00 上山高原エコミュージアム)
- 13日(土) 久斗山自然教室「夜のホタルとカエルの観察会」(18:00～21:00 久斗山地区公民館)
- 15日(月) 「小学生と行こう! 社会見学の旅」(8:15～14:30 浜坂東小学校・久斗地区公民館ほか)
- 18日(木) 「扇ノ山夏山登山」(9:00～16:00 上山高原エコミュージアム)



2026/6/14 上山高原エコミュージアム 70周年
シワガラの滝トレッキング

小又川渓谷の「シワガラの滝」「茂平谷滝」などを自然観察する滝巡りです。シワガラの滝は全国でも珍しい洞窟の中にある滝で、神秘的で、洞窟の中で流れ落ちる滝です。山野草、黒色凝灰岩とのコントラストが美しく迫力のある滝で多くのカメラマンが訪れます。



(シワガラの滝)

- ☆日時 2026年6月14日(日)
- ☆場所 上山地区 小又川渓谷
- ☆受付 午前9:00
- ☆出発 ふるさと館 9:15～
- ☆コース シワガラの滝・茂平谷滝 上山高原など(10:00~14:00)
- ☆解散 15:00ふるさと館

※道のりが険しいため健脚者のコースです
★持物 弁当・飲み物・雨具・トレッキングシューズ(又は長靴) 山歩き用の服装等
★参加費用 大人2500円 小中学生1000円
★定員 先着30名

★申込み・問合せ
NPO法人 上山高原エコミュージアム
E-mail: ueyama-eco@yumenet.tv
TEL0796-99-4600 FAX0796-99-4601



マミジロハエトリの♂

触肢の先端の白い毛が、チアガールのポンポンを持っているように見える。

四季の久斗山生物だより
マミジロハエトリ (クモ類)
草の上などを徘徊し、蠅などの昆虫を見つけて、飛びかかって捕まえるハエトリグモの仲間です。メスはズンズンして灰色の地味な色彩ですが、オスは体も細く、脚や頭部が黒く、触肢や顔は目立つ白や赤い毛で装飾し、婚姻の時にはメスの前でダンスをしてアピールします。

かってに昔話

蜘蛛が好き! 第二話

作、いっこう
高校二年生になり、三年の先輩達は受験などの準備で部活動に出なくなると、二年が部の中心的存在になります。浜坂高校生物部では毎年、夏休みには海と山で二泊三日の合宿を行なっており、海は城山園地にある崩浜という小さな砂浜でテント泊をしながら海の生き物を観察したり調査します。山は上山高原から更調登った小ヅッコの避難小屋に泊って扇ノ山に登ったたりします。山の合宿は部長と副部長が見ることにし、部長の二人で、一学期の終業式が終わるのを待たねて寝袋などが入った荷を担いで早々に学校を出発しました。今のうちに車道が上まで通じているわけではなく、浜坂からバスで岸田まで行き、そこから歩き、青下の集落を経て上山高原へ登山道を直登し、さらにシヨープ池から尾根の急登を登った先に小ヅッコの避難小屋があります。元気な高校生の足でも半日以上かかり、やっとならに小屋に到着しました。この時、すでに十人近い先客がいました。先客は島根大学の生物サークルの人達でした。生き物好き同志、すっかり打ち解けて、仲良く一夜を共にすることができました。そのサークルのメンバーの中に豊岡高校で生物部だったH氏がおり、同じ但馬の高校の生物部という事で、さらに氏も蜘蛛の研究であり、この時、運命的な出会いを感じました。

「いっこうくん、兵庫の蜘蛛はまったく調べられていない、空白を埋めてくれよ」
H氏の言葉に、がぜんやる気が沸きました。(つづく)